

【人材育成・基盤的研究拠点】 平成26年度 イノベーションマネジメント・政策プログラム 受講生募集要項説明会



2014年1月29日

一橋大学イノベーション研究センター
教授 青島 矢一
特任講師 浅井 政美

0. 目次

1. イノベーションの現場に対する深い理解の重要性	3ページ
2. 一橋大学のはたす役割	4ページ
3. 拠点間連携 基盤的研究推進と人材育成	5ページ
4. 一橋大学における基盤的研究推進と人材育成	6ページ
5. イノベーションマネジメント・政策プログラム	7ページ
6. 平成26年度IMPP	9ページ
7. 平成26年度IMPPの日程	11ページ
8. 平成26年度IMPP担当教員	12ページ
9. 平成26年度選考日程	13ページ

1.イノベーションの現場に対する深い理解の重要性

- 科学技術政策に対して、イノベーションの現場に関するミクロの知見（産業技術の発展、競争構造の変化、企業経営の論理、技術者の論理など）をインプットすることが重要であるという認識
- 国のイノベーションシステム全体のあり方を総合的に考える上で、つまり、「革新の創出＋革新への資源動員」を実現する補完的・代替的システムの検討を行う上で、企業を中心としたイノベーションシステムに関するこれまでの知見が重要となるという認識

2. 一橋大学のはたす役割

- 社会科学の立場から、イノベーション政策に影響力をもちえるイノベーション研究者を育成する教育プログラムの開設。特に、理工系バックグラウンドをもつ人たちの受け入れを促進（イノベーションマネジメント・政策プログラム）。
- 企業経営などイノベーションの現場に対する深い理解に基づくこれまでの研究を基盤にして、それを政策立案につなげる研究体制と連携体制の構築
 - ①産官学連携プログラムの連動，人材育成プログラムとの連動
イノベーション・プロセスに関して蓄積された知識・情報を外部に積極的に発信する。特に政策立案の場に情報を継続的にインプットし、相互のやりとりを促進する。
 - ②社史データ、経営者データ、イノベーションのケーススタディ、長期統計、特許データなど蓄積された情報をオープン化して、相互活用を促進する

3. 拠点間連携 基盤的研究推進と人材育成

政策研究大学院大学、東京大学、大阪大学・京都大学、九州大学、一橋大学の拠点間での連携：

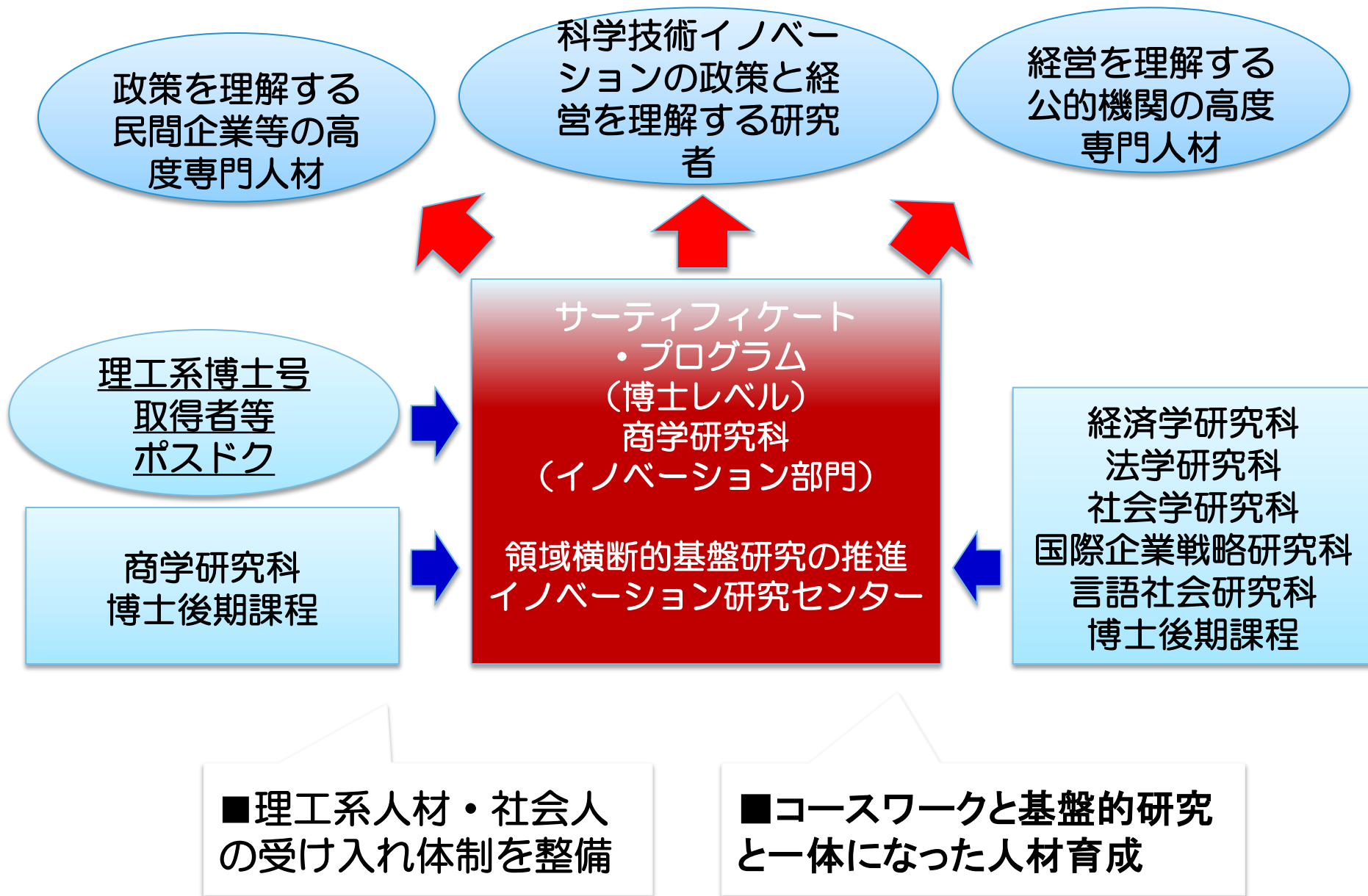
サマーキャンプ
国際ワークショップ
を開催。



※ 1 各拠点とも上記のほかには特徴に応じた演習や実践を組み込む予定です。

※ 2 分野別イノベの対象は、平成25年度に主に扱う予定のものであり、今後さらに充実が図られる予定です。(文部科学省より提供)

4. 一橋大学における基盤的研究推進と人材育成



5.イノベーションマネジメント・政策プログラム (Innovation Management and Policy Program: IMPP)

■イノベーションマネジメント・政策プログラム (Innovation Management and Policy Program : IMPP) は、経営学や経済学を中心とする社会科学の知識を身につけながら、

①イノベーションのマネジメント、または、イノベーションを促す政策形成や制度設計に関連するテーマで独自の研究論文を仕上げ、学術的なフロンティアを開拓するとともに、

②民間組織におけるイノベーションのマネジメントや公的機関における科学技術イノベーション政策の形成に対して適切かつ重要な影響力をもちうる研究人材を養成することを目的とした、

博士レベルのサーティフィケートプログラムです。

日本および国際社会がイノベーションを生み出す能力を強化もしくは向上させる上での学術的基盤を担う**人材の育成**を行う、**教育**（教員からの学術的知識の習得）と**研究**（教員との研究の実施）が一体化したプログラムです。

5.イノベーションマネジメント・政策プログラム (Innovation Management and Policy Program: IMPP)

- 本プログラムを修了するには、「イノベーションリサーチセミナーⅠ」「イノベーションリサーチセミナーⅡ」及び「必修科目」（3科目）、「選択必修科目」（2科目）の受講に加えて、論文の提出が必要となります（各研究科における博士課程提出論文の内容と兼ねることが可能です）。

最短で**2年間**での修了が可能です。

- 本プログラムは、文部科学省科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点事業（領域開拓拠点）による補助を受け運営するものであり、本プログラムの修了生には、**一橋大学学長と一橋大学大学院商学研究科長**の連名で**修了証明書（サーティフィケート）**が授与されます。

- 本プログラムでは、一橋大学大学院博士課程に所属する学生の他、他大学の博士課程の学生、ポストドクトラルフェロー、その他、社会人を含む修士課程修了者（もしくは、修士課程修了に相当する者）の参加のため、**カリキュラムは、水曜日の夜と週末（土曜日）**を中心に構成されます。

6. 平成26年度IMPP 必修科目

- イノベーションリサーチセミナー I・II（夏・冬学期、各2単位）
 - 原則、関係教員全員参加による集中演習。分野横断的な視点から研究指導を行う。
- イノベーションと経営・経済・政策（夏学期、2単位）
 - 科学技術イノベーション・システム（科学技術及びイノベーションのプロセス、メカニズム、効果等）を社会科学の側面から俯瞰的にとらえるため講義。
- イノベーション研究方法論（夏学期、2単位）
 - 科学技術イノベーション・システムの社会科学的研究に必要とされる、定量的、定性的方法論を習得するための講義
- 先端科学技術とイノベーション（冬学期、2単位）
 - 社会学者と最先端の技術者・研究者の組み合わせによるオムニバス形式の講義。4モジュール（4つの技術領域）から構成される。

6. 平成26年度IMPP 選択必修科目

■ 科学技術イノベーション研究の経営学的及び経済学的な基礎、研究の基礎的な方法論に関する知識を習得する。

➤ イノベーションマネジメント（冬学期：2単位）

担当：軽部准教授

➤ イノベーションの経済分析（夏学期：2単位）

担当：長岡教授

➤ イノベーションと政策・制度（冬学期：2単位）

担当：江藤特任教授

7. 平成26年度IMPPの日程

■イノベーションリサーチセミナー I・II（夏・冬学期、各2単位）

I : 4/26 (土)、5/24 (土)、6/28 (土)、7/19 (土) 9-15

II : 10/25 (土)、11/29 (土)、12/20 (土)、1/24 (土) 9-15

■イノベーションと経営・経済・政策（夏学期、2単位）

4/9 (水) ~7/23 (水) 18-21 原則、隔週

■イノベーション研究方法論（夏学期、2単位）

4/9 (水) ~7/23 (水) 18-21 原則、隔週

■先端科学技術とイノベーション（冬学期、2単位）

10/1 (水) ~1/28 (水) 18-21 原則、隔週

8. 平成26年度IMPPの担当教員

■米倉誠一郎 教授

江藤学 特任教授

長岡貞男 教授

西口敏宏 教授

延岡健太郎 教授

青島矢一 教授

北野泰樹 特任准教授

軽部大 准教授

楡井誠 准教授

清水洋 准教授

9. 平成26年度選考日程①

(1) . 学生募集人員

- 5名程度

(2) . 出願資格

- ①平成26年4月1日時点で一橋大学大学院博士課程に在籍する者又は予定者
- ②大学院の修士課程(博士前期課程)を修了した者
- ③大学院の専門職学位課程を修了した者
- ④大学院の博士後期課程を修了した者
- ⑤一定の審査を経て①から④に相当すると判断された者

(3) . 在籍期間

- 最長3年

(4) . 受講料

- 207,200円 (3年分) (出願資格②、③、④、⑤の受講者)

9. 平成26年度選考日程②

(5) .出願書類等

- 志願票：所定の書式に所要事項を記入し、写真（デジタル画像）を付したものの。
- 研究業績リスト及び研究計画書：A4用紙4枚以内でこれまでの研究内容と今後の研究計画及び研究計画の実施を担保できる実績をまとめたもの。
- 受験料は、無料。

(6) . 出願方法

- 出願期間中に、出願書類を、イノベーション研究センター
IMPP事務局

(impp@iir.hit-u.ac.jp) 宛に電子メールで送付してください。

出願期間：平成26年3月3日から平成25年3月17日（17時必着）。

9. 平成26年度選考日程③

(7) 選考方法

- 書類審査と下記の日程で行われる口述試験の結果を総合して合否を決定します。

- 口述試験

期日：平成26年3月26日（水）

時間：9：00～13：00

試験場：イノベーション研究センター2階会議室

審査：提出された書類及び研究計画書に基づき、専門に関連する事項、その他について行います。

(8) 合格者発表

平成26年4月1日（火）13時にホームページ上に掲載します

（<http://www.iir.hit-u.ac.jp>）なお、合格者には電子メールにて通知します。



終